

第4回FUYOUカップオープン ドッジボール大会 大会要項

1. 日時 令和6年11月4日(月・振) 9:00~17:00
開場 8:30 受付 8:30~8:50
監督会議 8:45~
開会式 9:00 試合開始 9:20
役員準備(会場設営) 8:00
*スケジュールを変更する場合がありますのでご注意ください

※駐車場の開門は8時を予定しています。駐車場への入場待ちは渋滞の原因となりますので控えて
いただくようご協力お願いします。

2. 会場 アダストリアみとアリーナ
茨城県水戸市緑町2-3-10 TEL029-303-6335【検索用】
3. 主催 株式会社FUYOU 水戸市ドッジボール協会 水戸市ドッジボールスポーツ少年団
4. 後援 茨城県ドッジボール協会 水戸市スポーツ協会
5. 協賛 お弁当のひろうら

6. 競技種目

(1) シニアの部

- ・中学1年生以上で構成されたチーム
- ・男子、女子、混合を問わない
- ・プレイヤーは8名、登録は15名まで

(2) 高校生の部

- ・高校1年生~3年生で構成されたチーム
- ・男子、女子、混合を問わない
- ・プレイヤーは8名、登録は15名まで

(3) U15の部

- ・中学1年生~3年生で構成されたチーム
- ・男子、女子、混合を問わない
- ・プレイヤーは8名、登録は15名まで

※高校生の部及びU15の部のプレイヤーの、シニアの部とのダブルエントリーを可とする

7. 参加費

各カテゴリーとも **8,000円**

※参加料については、大会当日受付にてお支払いください。

※本大会は、U15及び高校生の部については帯同審判制とします。ただし、帯同審判員がいない場合の負担金の徴収はありません。また、シニアの部については、線審のお手伝いをお願いすることがあります。各チームから審判のご協力をお願いします。

8. 競技方法

- (1) 試合は予選リーグ戦を経て、トーナメント方式にて優勝チームを決定致します。
- (2) 予選リーグの組み合わせは、大会事務局の責任抽選にて決定し、水戸市ドッジボール協会HPにて発表します。

9. 競技規則

- (1) ルールは一般財団法人日本ドッジボール協会公式ルール及び2024年度版シニアカテゴリーレギュレーションに則って行います。
- (2) 予選リーグ、決勝トーナメントは5分1セットマッチ。シニアの部の準決勝、決勝は5分3セットマッチ。高校生の部及びU15の部は決勝戦のみ5分3セットマッチ。なおスケジュールによっては、変更する場合があります。試合時間の計測は全てランニングタイム制とします。
- (3) 予選リーグは勝点制を採用して順位を決定し、全チームが決勝トーナメントに進出します。
(勝ちを2点・引き分けを1点・負けを0点)勝ち点の合計点数が同じ場合は、①味方内野人数合計の多い方・②直接対決の勝者・③相手内野人数合計の少ない方 の順で上位を決定する。それでも決まらない場合は決定戦を行う。
- (4) 決勝トーナメントでは試合終了または各セットで勝敗を決めます。
試合終了またはセット終了時に内野人数が同数の場合には、そのままVポイントゲームを行います。(セット終了時の状態で試合を再開し、最初にアウトを取ったチームの勝ち)
- (5) ワンタッチの適用はありません。
- (6) コートサイズは内野11M 外野3Mとする。
- (7) 審判への抗議・アピールは一切認めません。
- (8) 選手への厳しい指導(体罰・罵声等)があった場合は、大会本部より処分を下すこととなります。

10. 申込方法

令和6年10月14日(月)必着にて参加申込書及びお弁当注文書を大会事務局あて E-mail (info@idba.jp) で送付して下さい。

11. 表彰 優勝チーム、及び上位入賞チームを表彰する。

12. その他

- (1) U15の部及び高校生の部については必ず責任者が引率してください。
- (2) 参加選手には万一の事故に備え「スポーツ安全保険」への加入を義務付けます。
(引率者も加入できます)
- (3) 大会参加にあたっては、選手の健康管理に十分留意してください。
競技中に選手が負傷した場合、会場において応急処置をいたしますが、主催者はその後の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
また、会場までの往復の事故についても責任を負いかねますのでご了承ください。車上荒らし・置き引き等にもご注意ください。
- (4) 本大会は、お弁当業者に協賛していただいておりますので、お弁当の注文は参加条件とさせていただきますので各チームで必ずご注文ください。
- (5) 各チームともプラカードをご用意下さい。

13. 本大会に関するお問い合わせ先

《大会事務局》

『第4回FUYOUカップオープンドッジボール大会』係
〒310-0031 水戸市大工町1-2-22 茨城県ドッジボール協会
Email: info@idba.jp
事務局 ☎ 090-2657-3785

2024年度版シニアカテゴリーレギュレーション（抜粋）

【適用】

本レギュレーションは全日本総合選手権（U15を含む）、全日本女子総合選手権（以下、上位大会）とシニアチャンピオンシップ（以下、予選大会）において適用されるものとする。但し、上記大会以外の大会においても、大会主催者が本レギュレーションを採用し、競技運営を行うことができる。

【クラス】

シニアカテゴリーを下記のようにクラス分けする。

なお、2024年度におけるU15の定義は、2009年4月2日～2012年4月1日生まれとする。

1. ファイターの部（全日本総合選手権、及びシニアチャンピオンシップ）
中学生以上の男女で構成される競技性を重視したクラス。男女比の制限は行わない。
2. 女子の部（全日本女子総合ドッジボール選手権、及びシニアチャンピオンシップ）
中学生以上の女子で構成される競技性を重視したクラス。
3. U15の部（全日本総合選手権、及びシニアチャンピオンシップ）
男女で構成される競技性を重視したクラス。男女比の制限は行わない。
4. ふれあいの部・エンジョイの部等の普及目的の部門（シニアチャンピオンシップのみ）
中学生以上の男女で構成されるレクリエーションを重視したクラス。出場要件は、各主催者により異なる。（普及計画を重視し、以下のレギュレーションを主催者が変更する場合があります。各大会の要項を確認してください。）

【チーム編成・スターティングラインナップ】

チームは20名までのプレイヤーと3名までのチーム役員で構成される。チーム役員が兼任プレイヤーとなる場合※は、20名の登録プレイヤーの中に含まなくてはならない。

- 監督が兼任プレイヤーとして試合に出場する場合、プレイヤーズベンチには必ず20歳以上の監督代行者がいなければならない。
- 主審・コートマスターが指示をした場合を除き、いかなる理由においてもプレイヤーズベンチに監督代行者がいなくなった時点で不完全の対象となる。対応は公式ルール&審判テキストブック126頁「11.不完全となった場合」の「2）成人がベンチにいなくなった場合」に記載の通りとするが、②の「プレイヤーの人数を確認」を「必要に応じてプレイヤーズベンチにいる者の年齢を確認」と置き換えて対応する。

※U15の部においてはプレイヤーとチーム役員の兼任はできません。

➤ 一方のチームが不完全となった時点で、その相手チームを不戦勝とする。この場合における試合の勝敗は、公式ルール「第705条 ③」に準拠する。（◆但し、各セットの内野人数は7対0とする。）

なお、監督が選手として出場している際、選手の安全確認と記録用紙への署名は全て監督代行者が責任を持って行う。

試合開始時には、コート上に8名のプレイヤーが出場する。（大会エントリー時点では8名必須）ただし、コート上のプレイヤー7名+プレイヤーズベンチの監督兼任プレイヤー1名の場合も、試合は成立とする。試合開始時の出場人数が6名以下となった時点で不完全の適用とする。

【チームのエントリー・選手の競技者登録について】

※本大会では適用しないので割愛します。

【予選大会から上位大会までの選手の変更について】

※本大会では適用しないので割愛します。

【上位大会への出場辞退】

※本大会では適用しないので割愛します。

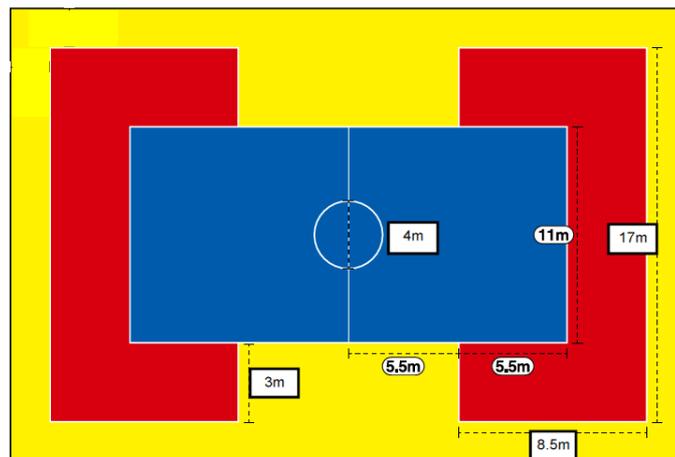
【抗議・アピール】

- いかなる抗議・アピールも罰則の対象とする。反射的な動作であっても悪質な言動と審判員が判断したものについては罰則の対象とする。
- 試合終了後の一方的な意見・批判等は、罰則の対象とする。

【コートサイズ】

- コートサイズは全てのクラスにおいて、下図の通りとする。
- 女子の部においては、小学生のコートサイズで実施しても構わない。
- 会場規模によりコートサイズ確保が困難な場合は、安全確保等を勘案し主催者側の判断により、変更することができる。
- 小学生のコートサイズよりも小さいコートで試合を行うことは認めない。
- コートサイズに変更がある場合は、大会要項や監督会議で事前に説明すること。

コート図



【ボール】

JDBA公認球（ミカサ製DB-350B-YLB、モルテン製D3C5000-YC）を使用する。但し、空気圧に関してはメーカー設定の下限値を大会開催前に調整する。

【試合形式】

- 全ての試合をランニングタイム制で行う。
- 予選はリーグ戦またはリンク戦を行い、上位チームが決勝トーナメントに進出する。
- リーグ戦またはリンク戦の順位決定方法は、各主催者が決定する。
- 決勝トーナメントにおいて試合終了時に内野人数が同数の場合は、ヴィクトリーポイント(Vポイント・VP)ゲームで勝敗を決定する。
- 決勝トーナメントのセット数については、各主催者が決定する。

【外野のワンタッチ】

- 全てのクラスにおいて外野のワンタッチルールを採用しない。
- 外野のワンタッチが存在しないことから、外野プレイヤーが意図的にボールを弾く行為は例外的な行為とは認められず、イリーガル・スローの対象とする。

【ヘッドアタック】

- ドッジボールが危険な競技と誤解をされないよう、攻撃側、守備側共に最大限の配慮を行うこと。
- ファイターの部、女子の部においては、相手プレイヤーが投球したノーバウンドボールに対し、キャッチング(捕球行為)またはドッジング(ボールをかわす行為)の意思がない状況で、ヘッドアタックを誘発させるために頭を突き出す行為や、意図的に頭部をボールの軌道に移動させる行為と審判員が判断した場合、イリーガル・キャッチ、イリーガル・スローの対象としてアウトとするので注意すること。(状況に応じ、罰則の対象となる場合もある)
- 攻撃側についても至近距離などの状況下にて頭部への投球に至った場合は、危険行為(安全配慮義務違反)として罰則の対象とする。

【正当なボール保持の妨害行為】

- 相手コート内にあるボールに対して(空中にあるか、コートに接触している状態かは問わない)、故意に相手コートへ入りボールに関与する行為、または相手プレイヤーがボールを保持しようとしているところを故意に相手コートに入り妨害する行為を行ってはならない。この場合、危険行為として罰則の対象とする。
- 自コートでボールを保持し、勢い余って相手コートに入ってしまった場合は除く(オーバーラインの適用)。

【本レギュレーションにおける罰則について】

本レギュレーションにおける罰則について、怪我のリスク、安全確保やマナー及びフェアプレイの観点から、厳しく罰則を適用するものとする。

- 危険行為(安全配慮義務違反を含む)、重大なマナー違反があったと認められる場合は『警告』
 - 暴力行為、侮辱的言動、著しくスポーツマンシップに反する行為があったと認められる場合は『退場』
- 同一セット中、2回目の警告を受けた場合も退場となる。
- 悪質な言動を続けることや、審判員がチームに対してプレイや言動の改善を求めたにもかかわらず指示に従わない場合は、その時点で『失格』
 - 失格となった場合、チームは以降のセットに出場できない。
 - 失格となった時点で、その相手チームを不戦勝とする。尚、不戦勝時における試合の勝敗は、公式ルール「第705条 ③」に準拠する。(◆但し、各セットの内野人数は7対0とする。)
 - 抗議・アピールについて、審判員が軽度と判断した場合は指導を行っても差し支えないが、同一試合中に同一チームの選手が再び同等の抗議・アピールを行った場合は、警告の対象とする。